EIDAI

S847

室内ドア

片開きドア本体・枠　トイレドア本体・枠　親子ドア本体・枠

施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ［施工説明書　P１～P１０］

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ［取扱説明書　P１０］

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。

禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

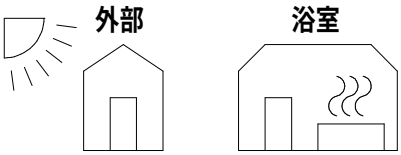
施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1．部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2．姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3．納まり図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
4．施工手順　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～9
5．調整のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
6．養生・お手入れ方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
7．ご使用上のご注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

⚠ 注意	●本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法などの表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工を行ってください。 ●本製品はホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したものですが、施工の際にご使用になる現場調達品（飼木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

本製品は、一般住宅用（室内専用）です。
業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



反りや変形の原因になりますので、製品到着後はすみやかに施工してください。また、開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行い、開梱後は長く放置しないでください。キズが付く恐れがあります。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

ドア枠を施工する際は水平・垂直を確認し、下図のような状態にならないように取り付けてください。
ドア本体が閉まりにくくなったり、すき間ができる原因となります。

傾き　ずれ　たいこ　つづみ　ねじれ

ドア枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、乾燥した飼木を入れてください。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

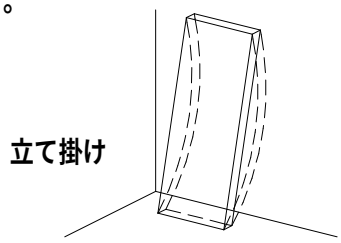
コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合には、必ず防水処理をしてください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。テープをはがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

建築工事中はドア本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、ドア本体・ドア枠を濡らさないようにしてください。

施工が完了するまでは、ドア本体や枠セットを水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。



養生・お手入れ方法・使用上のご注意は１０ページをご覧ください。

1．部材・部品表

■ドア本体

部材名	形状	入数	部材名	形状	入数
ドア本体		1	ストライク（親子ドアのみ）	（親子ドア本体〔子ドア〕に取り付け済み）	1
スモールライト（トイレドアのみ）	（トイレドア本体に取り付け済み）	1	フランス落し（親子ドアのみ）	（親子ドア本体〔子ドア〕に取り付け済み）	2
蝶番スペーサー		2	フランス落し受けプレート（固定ビス付き）（親子ドアのみ）		2

■レバーハンドルセット（別売品）

※レバーハンドル、座の形状は、品番によって異なります。

レバーハンドル		1	ケース錠		1
座（表示錠、間仕切錠、シリンダー錠の場合は、それぞれのパーツが一緒にセットされます。）		1	説明書	（レバーハンドルセットに同梱）	1

■枠セット

※1．図は固定枠です。額縁調整枠は形状が異なります。　※2．固定枠に額縁セットは必要ありません。

部材名	形状	入数	部材名	形状	入数
縦　枠	※1	2	蝶番（ドア側蝶番固定用ビス付き）図は右吊り元（R）用を示します。	（縦枠に取り付け済み）	1
上　枠	※1	1	ストライク	（縦枠に取り付け済み）	1
縦戸当たり　レバーハンドル側		1	接着剤セット　接着剤（戸当たり取り付け用）		1
縦戸当たり　蝶番側		1	接着剤セット　ＩＰビス	51mm	13
上戸当たり		1	接着剤セット　枠組み立て用ビス	36mm	4
施工定規		1	施工・取扱説明書	（本説明書）	1

■額縁セット　※2

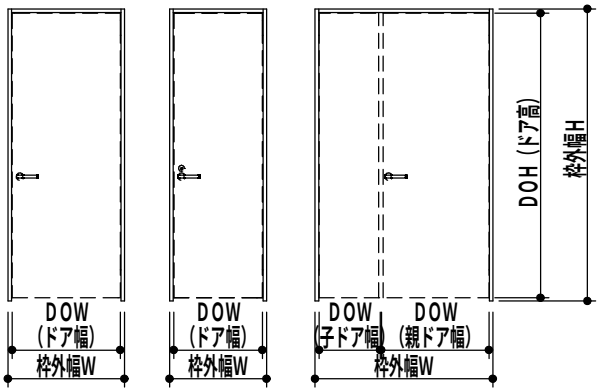
縦枠用		4	上枠用		2

■シート沓摺・シート見切り（別売品）

シート沓摺	幅100mm　薄壁対応用3 幅78mm	1	シート見切り	幅39mm	1

2．姿図

■片開きドア本体・枠　トイレドア本体・枠　親子ドア本体・枠



・デザイン・品番、寸法はカタログでご確認ください。

（品番例）

（ドア本体）ＶＤ－●Ｄ△△１０７☆※

サイズを表す記号

製品連番

片開きドア：Ｄ
トイレドア：Ｔ
親　子ドア：Ｐ

部品構成を表す記号

色記号

デザイン記号

（枠セット）ＶＦ－●Ｄ△１０７□※（Ｌ／Ｒ）－Ｓ

サイズを表す記号

製品連番

片開きドア：Ｄ
トイレドア：Ｔ
親　子ドア：Ｐ

部品構成を表す記号

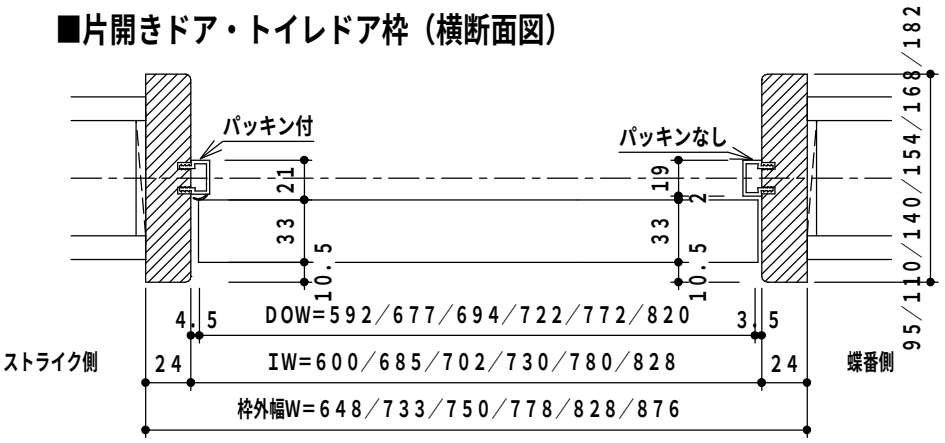
色記号

壁厚記号

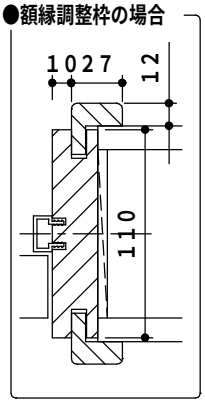
3．納まり図

（単位：mm）

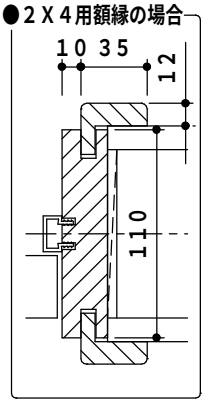
■片開きドア・トイレドア枠（横断面図）



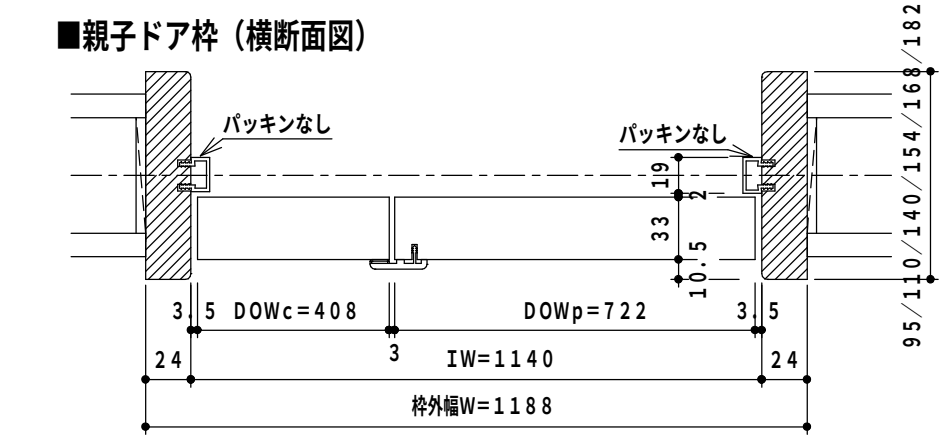
●額縁調整枠の場合



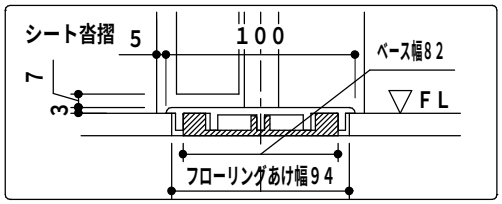
●２Ｘ４用額縁の場合

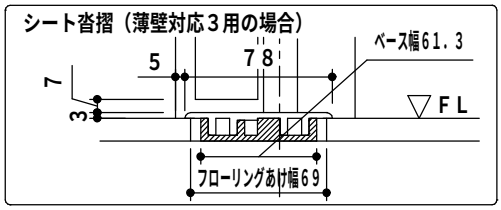


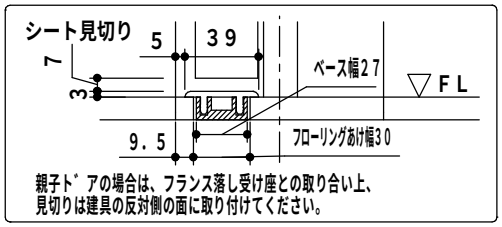
■親子ドア枠（横断面図）



・シート沓摺、シート見切りを付ける場合、
扉とのクリアランスは７mmになります。

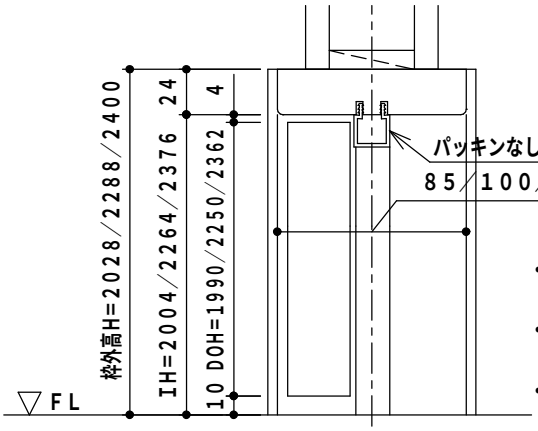




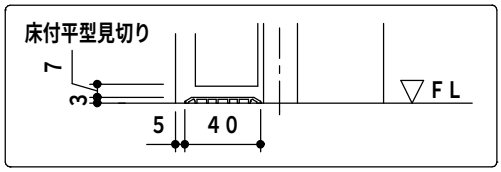


親子ドアの場合は、フランス落し受け座との取り合い上、
見切りは建具の反対側の面に取り付けてください。

■各ドア枠共通（縦断面図）



・図面は右吊り（Ｒ）の場合です。
　左吊り（Ｌ）の場合は左右対称となります。
・フロア面との納まり例は参考図です。
　現場の状態に合わせて施工してください。
・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。



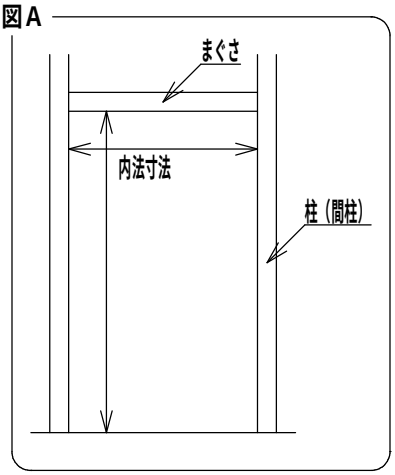
４．　施工手順

４－１．開口寸法の調整

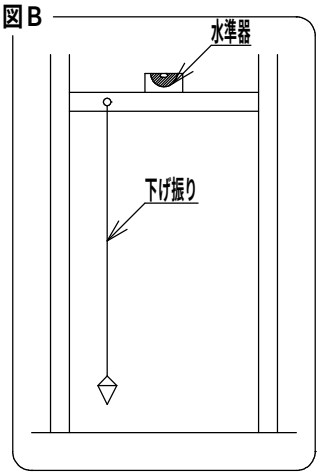
①使用する製品の寸法を確認し、柱・間柱・まぐさの内法寸法を合わせてください。（図Ａ）
内法寸法は製品の枠外寸法と１０mm（片側５mm）の余裕寸法を見込んで決めてください。

②下げ振りや水準器で、柱の垂直、まぐさの水平および、開口のねじれ、傾きを確認・修正してください。（図Ｂ）

図Ａ



図Ｂ



４－２．施工の前準備

●開きドア枠はノックダウン（現場組み立て）製品です。現場の納まりに応じて、現地での加工が必要です。
次の説明に従って加工してください。

①縦枠の加工

縦枠には上端の仕口加工（額縁仕様のみ）および、上枠取り付け用のビス穴加工が施されています。

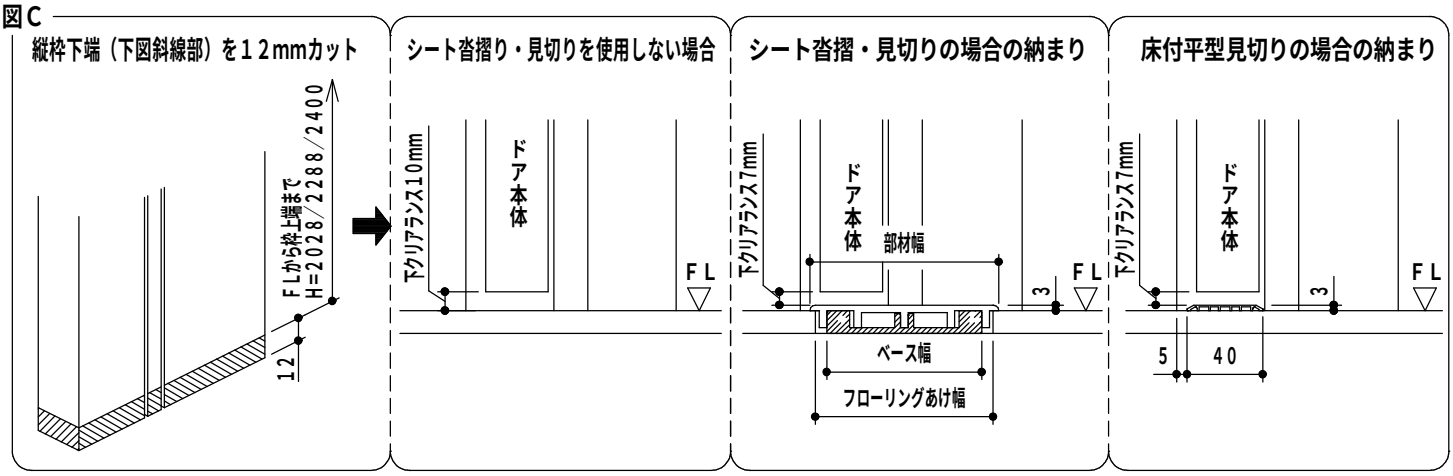
●標準仕様は、フロア乗せ施工に対応した枠高さになっています。
フロア乗せ施工の場合は、縦枠の下端のカットは不要です。

●品番末尾が＋Ｅ（オプション）の場合は、あらかじめ縦枠の下端を１２㎜伸ばして出荷します。
フロア埋め込み施工に対応しています。縦枠の下端部には、現場の納まりまたはシート沓摺（見切り）の有無によって異なる加工が必要です。下図を参照のうえ、加工してください。

■品番末尾に＋Ｅ（オプション）がある場合

下図の様な標準的な納まりにする場合は、縦枠下端の１２mmカットが必要です。

図Ｃ

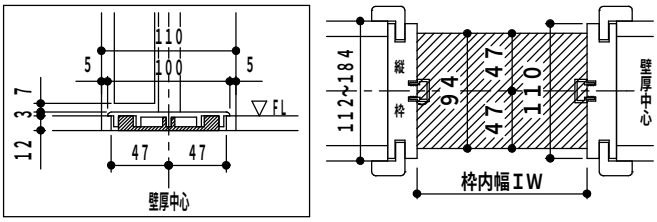


・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。

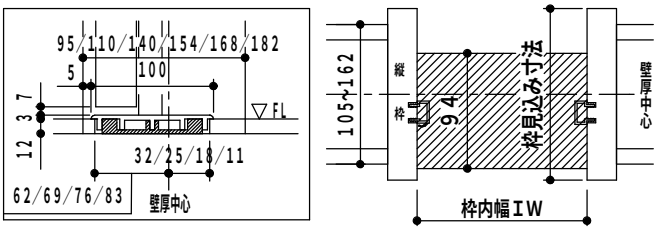
②シート沓摺、シート見切りをご使用になる際は、下図の斜線部をあけてフローリングを施工してください。
斜線部には、沓摺ベース部材と本体が入ります。
（下図納まり図は、標準納まりの場合です。）

A．シート沓摺の場合

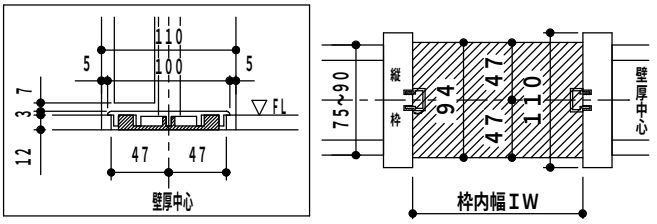
額縁調整枠－１ フローリングあけ幅＝９４mm



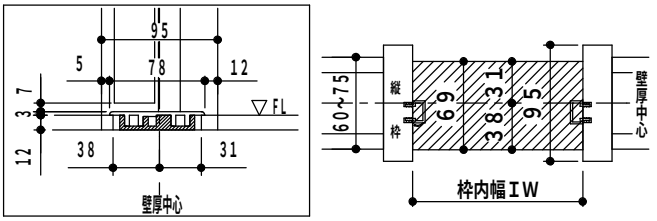
固定枠－８～５ フローリングあけ幅＝９４mm



薄壁対応用－４ フローリングあけ幅＝９４mm

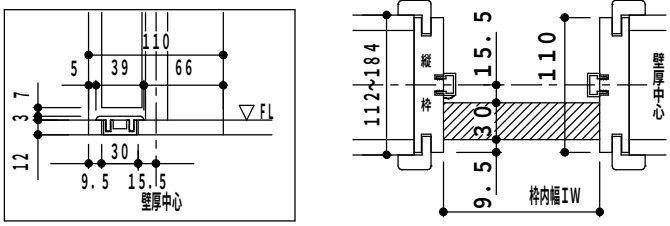


薄壁対応用－３ フローリングあけ幅＝６９mm

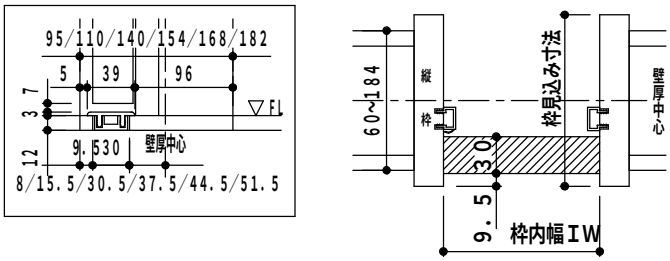


B．シート見切りの場合

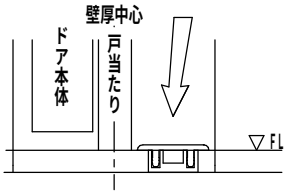
額縁調整枠－１ フローリングあけ幅＝３０mm



固定枠－８～５
薄壁対応用－４ フローリングあけ幅＝３０mm
薄壁対応用－３

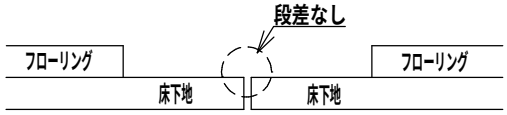


親子ドアの場合は、フランス落し受け座との取合上、ドア本体と反対側に取り付けてください。



・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。
・９mmあるいは１５mmの床材を使用する場合は、シート沓摺、シート見切り梱包内の説明書をご覧ください。

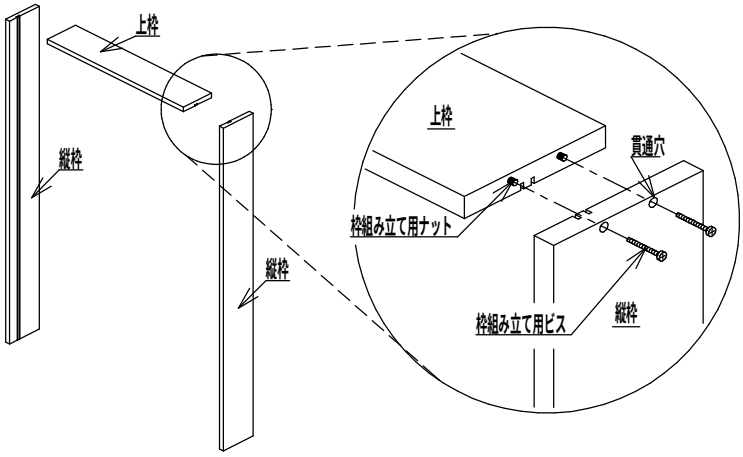
シート沓摺・見切りが施工される床下地に、段差のないことを確認してください。段差のある場合は、解消してください。段差があると、フローリングとのすき間、音なり、波打ちの原因となります。



４－３．枠の組み立て

・縦枠と上枠を組み立てます。

上枠には枠組み立て用ナットが取り付け済みです。
縦枠上部の貫通穴とジョイント（仮固定）して、
同梱の枠組み立て用ビスで固定してください。



・枠の組み立ては水平な場所で行ってください。
・枠の組み立ては同梱の枠組み立て用ビスを使用してください。
他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。

４－４．枠の取り付け

①飼木（パッキン材）と接着剤（現場調達／酢ビ系）を用いて、調整した開口部（５ページ参照）に組み立てたドア枠を仮固定してください。

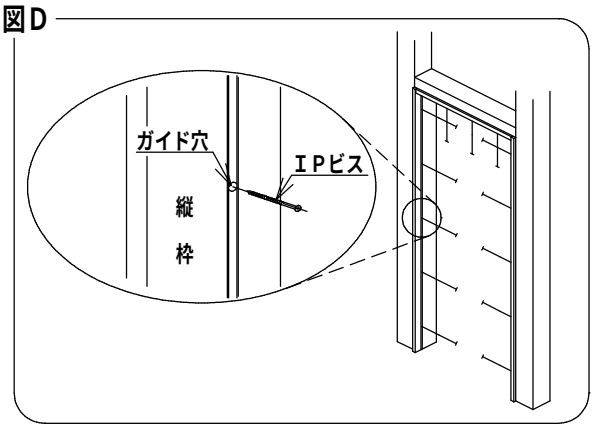
②同梱の施工定規を使用してドア枠内寸法を確保しながら、水準器・下げ振りを使用してドア枠の水平・垂直・ねじれ・フクレを確認・調整してください。

③上枠および、縦枠のガイド穴より、同梱のＩＰビスで躯体にしっかり固定してください。（図Ｄ）

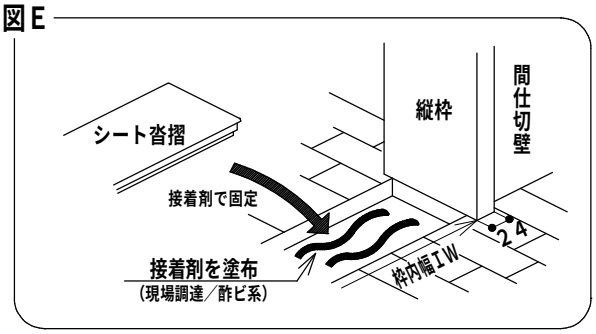
④ドア本体を吊り込んでドア本体とドア枠のすき間が均一になっているか確認してください。すき間が均一でない場合は上記②項を再度確認し、調整してください。

⑤シート沓摺・見切りを使用する場合は、ベースをゴム系またはエチレン酢ビ系の接着剤（現場調達）を使用して、しっかり固定してください。（図Ｅ）
詳細はシート沓摺・見切りに同梱の取り付け説明書をご確認ください。

図Ｄ



図Ｅ



【グランドハイト枠セットを天井先貼り時に施工する場合】

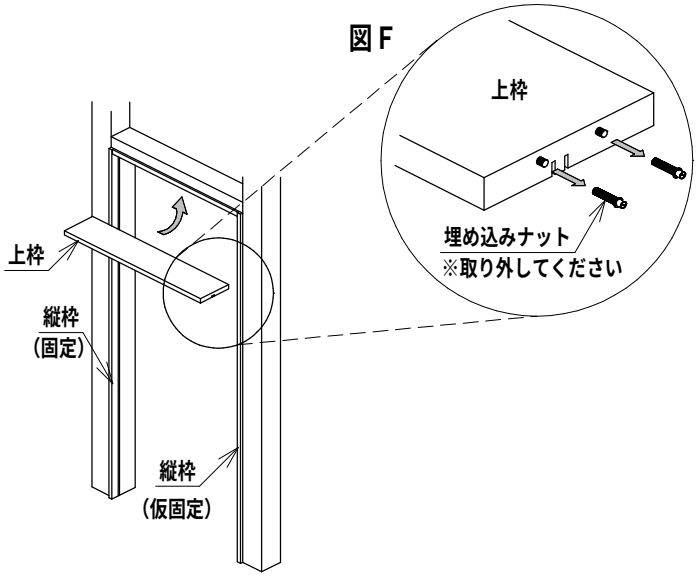
１．片側の縦枠を同梱のＩＰビスで躯体に固定し、反対側の縦枠を仮固定してください。

２．仮固定した縦枠側の上枠の埋め込みナットを外してください。（図Ｆ）

３．固定した側の縦枠に上枠の埋め込みナットを合わせて位置決めし、上枠を同梱のＩＰビスで固定してください。

４．仮固定した縦枠と躯体の間に飼木（現場調達）を入れて開口を調整し、同梱のＩＰビスで縦枠を固定してください。

図Ｆ



４－５．戸当たりの取り付け

①上枠用の戸当たりは枠の内幅寸法（ＩＷ）にカットしてください。

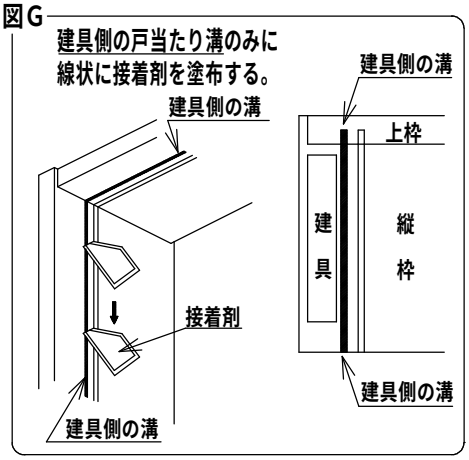
②縦枠用の戸当たりは枠内高寸法（ＩＨ）から１７mm（上戸当たりの厚み分）引いた長さにカットしてください。

③枠セットに同梱している接着剤を、建具側の戸当たり溝のみに線状に塗布してください。（図Ｇ）

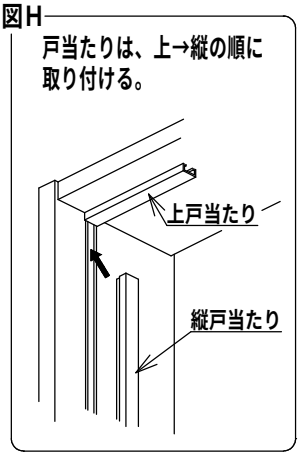
④カットした戸当たりを上、縦の順に手で押さえて取り付けてください。（図Ｈ）
※金槌を使用する場合は、必ず当て木をしてください。

お願い　戸当たりは横勝ちで納めてください。

図Ｇ



図Ｈ



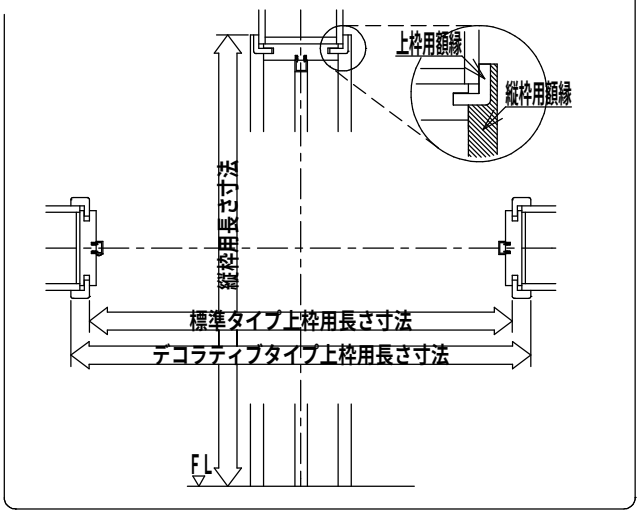
4－6．額縁の取り付け

・額縁調整枠の場合は、額縁の取り付けが必要です。

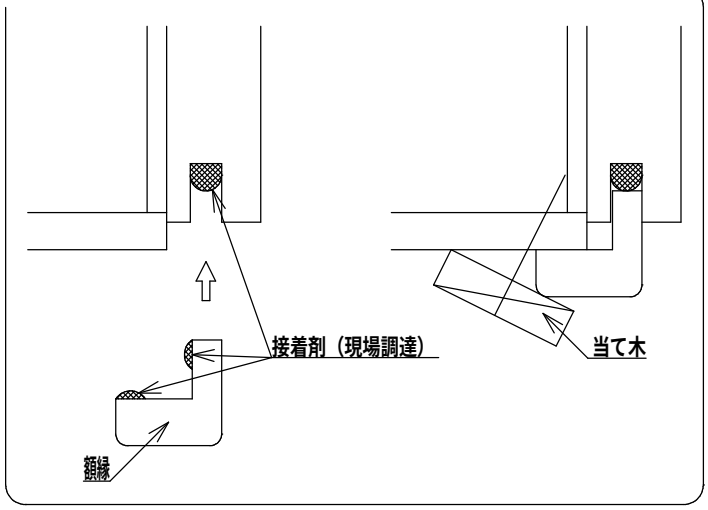
①額縁は、縦勝ちで納めてください。
※縦枠用額縁は上枠用額縁の寸法を測定のうえカットしてください。（図Ｉ）

②額縁取り付け時には、接着剤（現場調達／酢ビ系）を必ず使用し、完全に硬化するまで当て木をしてください。（図Ｊ）

図Ｉ

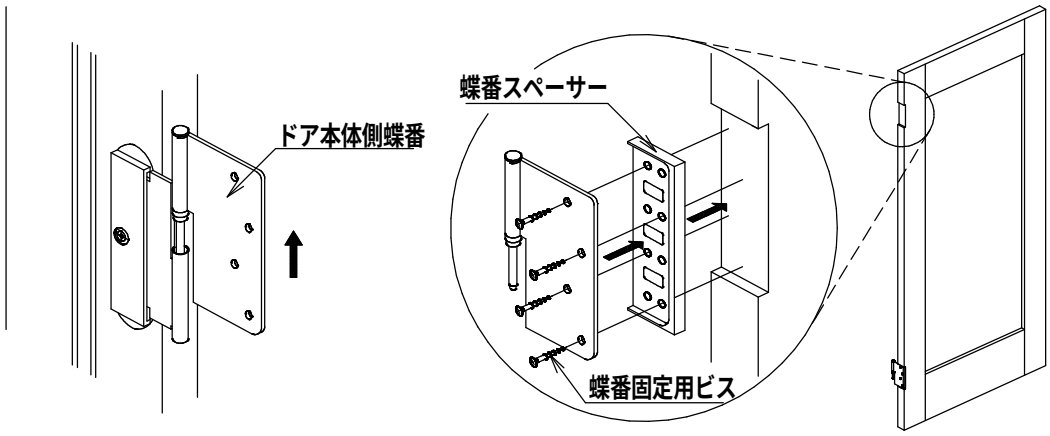


図Ｊ

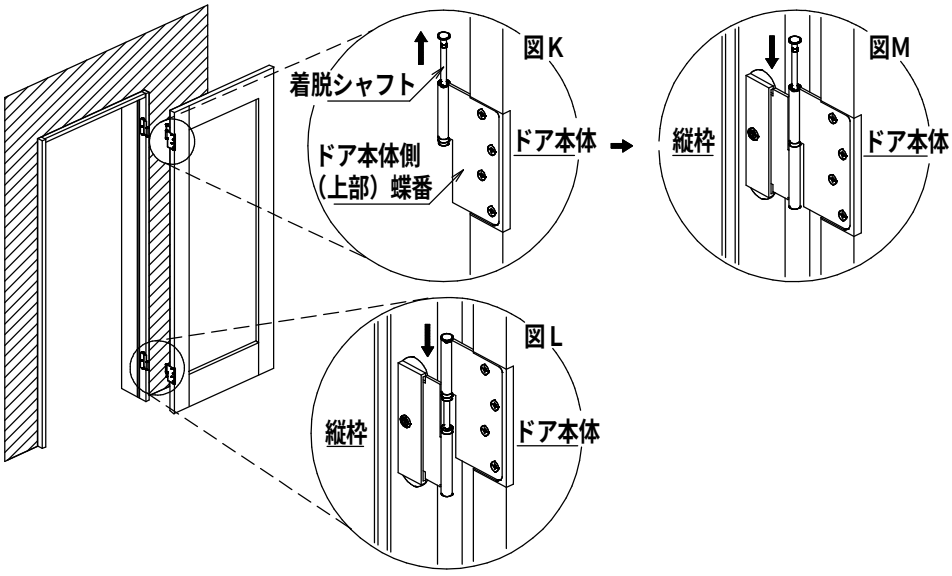


4－7．ドア本体の吊り込み

①縦枠の蝶番からドア本体側の蝶番を取り外し、蝶番スペーサーを使用して蝶番固定用ビスでドア本体に取り付けます。

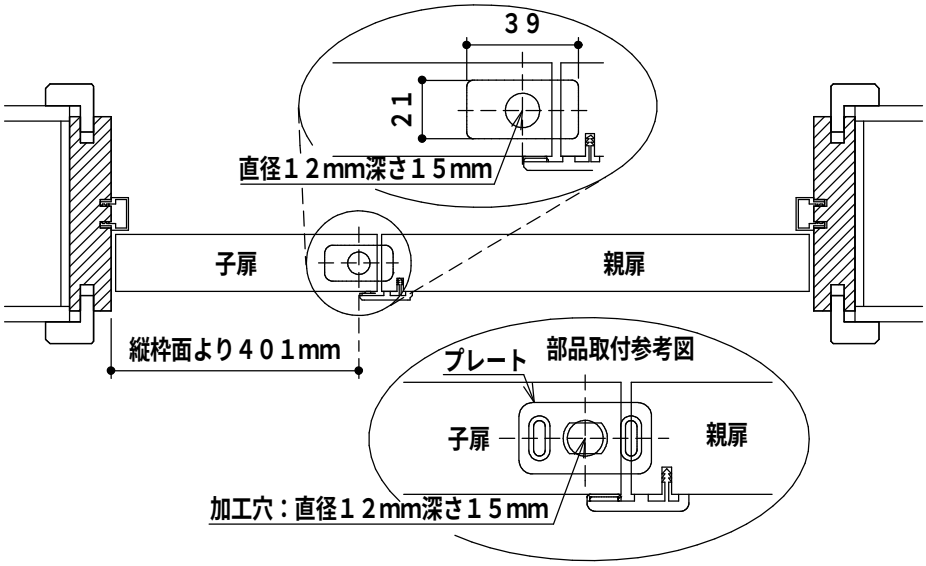


②ドア本体側（上部）に取り付けた蝶番の着脱シャフトを「カチッ」と音が鳴るまで持ち上げます（図Ｋ）
③ドア本体側（下部）に取り付けた蝶番の着脱シャフトを、枠側（下部）の蝶番に差し込みます（図Ｌ）
④ドア本体側（上部）の蝶番と枠側（上部）の蝶番を合わせて、着脱シャフトを「カチッ」と音が鳴るまで下げます（図Ｍ）



４－８．フランス落し受けプレートの取り付け （親子ドアの場合のみ）

①ドア本体が閉まった状態で、子ドアに取り付いているフランス落しのツマミを上下させて、受けプレートを付ける位置を決めます。
②位置決めした印を中心に上枠と床に直径約１２mm深さ約１５mmの穴をあけてください。
③穴を覆うように受けプレートを取り付けてください。必要であれば受けプレートの厚み分の掘り込み加工を施してください。
・位置については下図を参考にして、上枠と床面の２カ所に取り付けてください。
・アルミ製の床付平型見切りをドア本体の下に使用する場合は、鉄鋼用のドリルで取り付け穴をあけてください。
　また、受けプレートを取り付けるためのビスの下穴もあけてください。

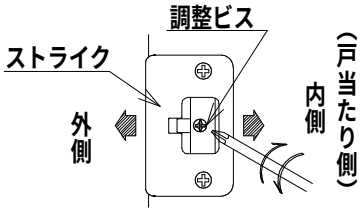


５．調整のしかた

建て付けの調整は手動式プラスドライバーを用いて行ってください。

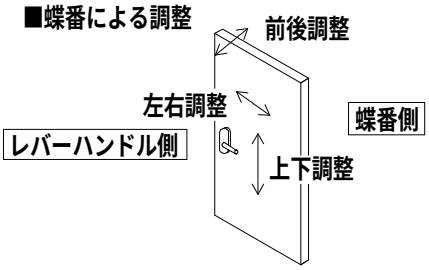
お願い 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

■ストライクによる調整：調整ビスを回し調整します。



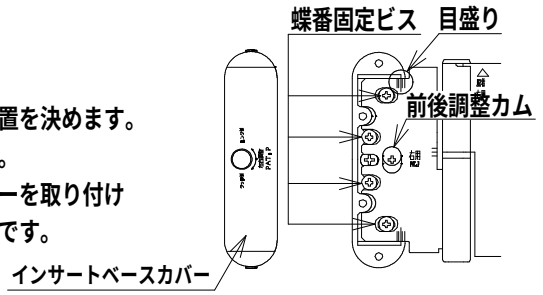
調整範囲は内側（戸当たり側）２mm（親子ドアは２．５mm）　外側　５mm（親子ドアは２mm）
右に回した場合：ドア本体が内側（戸当たり側）に移動　　左に回した場合：ドア本体が外側に移動
ラッチがストライクの中でガタつく場合：右に回す　　ラッチがかからない場合：左に回す

■蝶番による調整



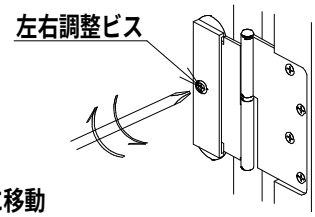
前後調整

①インサートベースカバーを外します。
②蝶番固定ビスを４本とも緩めます。
③前後調整カムを回して、目盛りを目安に位置を決めます。
　左右どちらに回しても前後調整が可能です。
④蝶番固定ビスを締めインサートベースカバーを取り付け
　ます。調整範囲は前へ２mm、後へ２mmです。



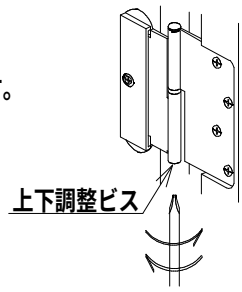
左右調整

左右調整ビスを回し、調整します。
調整範囲は蝶番側に２mm
レバーハンドル側に２mmです。
右に回した場合：ドア本体がレバー
　　ハンドル側に移動
左に回した場合：ドア本体が蝶番側に移動



上下調整

上下調整ビスを回し、調整します。
調整範囲は上に１mm　下に３mmです。
注）蝶番は必ず上下２枚とも調整を
　　行ってください。
右に回した場合：ドア本体が上に移動
左に回した場合：ドア本体が下に移動



６．養生・お手入れ方法

■養生

・当て傷・擦り傷等がつかないように保護シート等で養生してください。

■お手入れ方法

・ドア本体が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
金属はやわらかい布で乾拭きしてください。

・採光部の樹脂板が汚れている場合は、やわらかい布で乾拭きしてください。
汚れが酷い場合は、薄めた中性洗剤（１％以下）を柔らかい布に付け軽く拭いてください。

・酸性、アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
シートのフクレ・シワやシミ・艶ムラ、塗装・メッキのはがれやサビ等の原因となります。
・採光部の樹脂板には溶剤を含むもの（ガラスクリーナー・殺虫剤・塗料など）は絶対に使用しないでください。
艶ムラやキズ・変形・クラックの原因となります。

７．ご使用上のご注意

・開閉にあたっては、ドア本体どうしのすき間や枠のすき間に手を置かないでください。
指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

・暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。
ドア本体の反り、変色、火災などの原因になります。

・ドア本体に粘着テープでポスターなど貼らないでください。
表面が傷む恐れがあります。

・ドア本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。
材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。

・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。
ご自身で対処できない場合には施工店にご相談ください。

・ドア本体や金具（レバーハンドルや蝶番）にぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。
転倒やドア本体の落下・破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へ
お問い合わせください。

MEMO

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平 日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

S847Ie2103nkEP 第4版